



泉佐野市・かつふじ歯科 **勝藤 大輔** 先生です。

在宅歯科医療に取り組んで、はや20年が経ちました。当初は家族からの依頼がほとんどで、患者情報を得るのに時間をとり治療の着手に遅れることがしばしばありました。患者、家族さんには不便をかけたことを覚えています。現在、従来の情報提供法だけでなくクラウド上での直近の状態変化を共有することによりスムーズな治療対応ができるようになってきています。このようなネットワークを全患者さんに享受できるよう行政含め多職種の皆様方のご協力お願い申し上げます。



アンケートの結果（在宅医療に関して_訪問看護ステーション編）

本年2月に、当医師会圏域の訪問看護ステーション（総数21事業所）に対して、体制規模や医療機関との連携状況についてアンケートを依頼し、17事業所（80%）から回答を頂きました。

回答のあった17事業所うち24時間対応をしているステーションは13ステーションで、連絡体制をとっているのは2ステーション。人員体制は、1事業所平均5.1人。連携を図っている医療機関の総数は86件で、1ステーションが連携している医療機関の平均が11ヶ所とかなり幅広く連携していることがわかりました。

この「顔の広い」連携力を利用して、かかりつけ医への誘導をスムーズに図ることが期待できます。

また、医療機関のチーム化ができた後は、チームとしての円滑な運営をするには「顔の広い」訪問看護師が各医療機関をつなげる接着剤的な役割を果たしてくれることを大いに期待したいところです。

（地域連携室 室長 松若良介）

「今月のWAO!さん」からのメッセージ

【泉佐野泉南医師会 地域連携室 コーディネータ】 坂本 津奈子さん
平成27年度から本格的な活動をするべく、本年2月からの準備期間を経て現在に至っております医療コーディネーターの業務に携わらせていただいております坂本です。

3月までは、医師会圏域の現状を知るためのアンケートを行い、皆様にはご協力いただきありがとうございました。私は、看護師という立場で、訪問看護ステーションへのアンケートを担当させていただきました。その中で、在宅医療への関心は高まっているのに、スムーズに取り組んでいけないハードルがそれぞれの職種に存在し、1歩がなかなか踏み出せないという現実があり、またそのことに対して今まで何かを行った、行おうとしたことが殆ど無かったのではないかという感想を持ちました。今までの訪問看護の経験を生かし、何とかこの地域での在宅医療の形を、医療職、介護職、福祉職や一般の住民の方にも理解していただき、在宅医療への皆様の思いやご要望に、微力ではありますが応えられるよう励みたいと思いますのでご協力、ご指導をよろしくお願いいたします。